

## KHAN Symposium '96

神戸大学KHANシンポジウム／震災研究シンポジウム ー地域復興とインターネットー

主 催 神戸大学情報ネットワークシステム委員会  
 神戸大学総合情報処理センター，国際文化学部，工学部  
 神戸マルチメディア・インターネット協議会

開 催 日 平成 8 年 1 月 11 日 (木) ～ 12 日 (金)

開 催 場 所 瀧川記念学術交流会館 (瀧川会館)

## ～プログラム～

1 月 11 日

## 1. 開会挨拶

10:00～10:10 豊田利久 (総合情報処理センター・センター長／情報ネットワークシステム委員会委員長)

## 2. 「地域社会とネットワーク」 司会 上原邦昭 (神戸大学)

10:10～10:50 「人間層まで含めたネットワーク構築について」

蛭名邦禎 (神戸大学)

10:50～11:30 「ネットワーク型 NPO と地域性 ～ VCOM プロジェクトを例に」

鎗木孝昭 (VCOM 運営委員)

11:30～12:10 「地域社会と大学のネットワーク ー災害救援の文化における産官学民の協力についてー」

水野義之 (大阪大学)

## 3. 「地域復興とインターネット」 司会 福島徹 (神戸大学)

13:15～13:45 「地域復興と神戸マルチメディア・インターネット協議会」

北村新三・田中克己 (神戸大学)

13:45～14:15 「インタービジネスネットワーク (IBN) と兵庫デジタルネットワーク研究会」

矢野孝一 (ヤノ電器)

14:15～14:45 「インターネットカフェ・ネットワーク」

吉村充晃・川端保正 (NetSurf)

14:45～15:00 ---休憩---

15:00～15:30 「防災情報通信ネットワークとデジタル映像研究所など」

井戸充茂 (神戸市企画調整局)

15:30～16:00 「兵庫県震災復興事業の概要」

長瀬洋英 (兵庫県企画部情報政策課)

16:00～16:10 ---休憩---

16:10～17:40 パネル討論「インターネットとマルチメディアによる都市復興」

コーディネータ：大月一弘 (神戸大学)

パネリスト：田中克己 (神戸大学) 木村義秀 (神戸市企画調整局) 福岡賢二 (神戸電子専門学校)

光森史孝 (神戸新聞) 浜田俊信 (兵庫県企画部情報政策課) 寺西 進 (三菱重工)

森川眞行 (グラフィックデザイナー)

17:40～20:00 懇親会

1 月 12 日

## 4. 神戸大学震災研究報告 司会 樽磨和幸 (神戸大学)

10:00～10:30 「災害時の情報サービス提供システムに関する考察」

堤智也 (神戸大学)

10:30～11:00 「平常時からの情報ボランティア活動へ向けて - InterVnetユーザー協議会 -」

干川 剛史 (徳島大学)

11:00～11:30 「情報ボランティアからの提言 -VAG-」

増澤徹 (VAG代表)

11:30～12:00 「情報ネットワークと倫理」

水谷雅彦 (神戸大学)

12:00～12:40 「災害時の情報ネットワーク」

五十嵐克彦 (NTT営業本部保全サービス部)

## 5. 閉会挨拶

12:40～12:50 閉会挨拶

## ■■ 開催挨拶 ■■

### 総合情報処理センター センター長 豊田 利久

この度の阪神淡路大震災は一瞬にして多くの貴重な人命、財産を奪ってしまいました。都市や経済の基盤も一瞬にして崩壊したということを、私達は経験した訳です。

早くもあの日から一年が近づいています。

震災時には被災現場において、また、被災地の外においても「情報の空白」という状態が生じます。私達が現実には体験しましたこの情報の不足、あるいは混乱といった状態は何故生じたのであろうか。情報通信システムとして、どの様なものが現在の社会において必要とされているのであろうか。ハード面の通信基盤整備だけで十分なのだろうか、という様に現代社会における「情報」というものについて、この震災を契機にして考えさせられる訳です。また、今後の阪神淡路地区の復興という面においても、産業面あるいはそれを含めた地域の活性化という点で情報通信分野が大きく期待されているところです。

被災現場にある神戸大学においても、震災に関するシンポジウムが多方面にわたって行われています。そういったものの一つとして、本日は、国際文化学部・工学部・総合情報処理センター等を中心といたします当大学の関連部局と、神戸マルチメディアインターネット協議会の共催により「地域復興とインターネット」というタイトルのもとにシンポジウムを開催することになりました。100名を超す多数の方のご出席で関係者一同、大変喜んでおります。二日間にわたるシンポジウムにおいて、それぞれの分野で第一線の方に登場していただいております。ご参加及びご意見の発表等にご協力いただきましたことを、主催者を代表し、有り難くお礼を申し上げます。活発な意見交換が二日間にわたってなされることを切に期待しております。

神戸大学情報ネットワークシステム「KHAN」は、94年10月に正式に発足致しました。幸い本年度の第1次補正予算において、更にそれを充実すべく基盤整備の予算措置がなされ、ただ今基盤増強の工事に取り掛かっています。当大学の情報ネットワークシステムも常に地域ネットワークを重視しています。ネットワークというものが発達すると、大学もかつての象牙の塔といえますか、閉じられたものではなく、否応なしに開かれた大学という形に変換してきます。これは、「インターネットが社会を変える」、という事柄の大学における形態かと存じます。そういう意味で、私達は今後も地域ネットワークというものを重視していく必要があると思っています。どの大学においてもその点は同じと思いますが、特に本日のシンポジウムの様なタイトルの内容で議論していただくことは、この地域だけではなく、震災がどこに起こるかも知れないという状況下で、日本の全ての地域の方がご関心をお持ちだと思います。従いまして、このシンポジウムの成果が、何らかの形で本日参加されない方々、他地域の方々、更には世界の方々の目に通るような形になればと期待しています。

本日の、シンポジウムを開催するにあたり、関連する部局の諸兄のご努力、並びに、大学だけではなく行政及び産業界からご協力ご参加いただきましたことを改めてお礼を申し上げ、活発な意見交換が成されることを重ねてお願いし、簡単ではございますが開催の挨拶に代えさせていただきます。どうも有り難うございました。